

研究業績一覧

——経済学部専任・特任教員（日本常民文化研究所所属教員を除く）の2009年中の研究業績——

秋山 憲治（アキヤマ ケンジ）

1 著書

『米国・中国・日本の国際貿易関係』白桃書房、2009年

2 論文

「日本の安全保障と輸出管理—アジアにおける不正輸出研究—」（共著）『アジア市場経済学会年報』第12号、2009年、45～54ページ

3 その他

「中国—米国間の知的財産をめぐる通商摩擦—WTO加盟以前を中心に—」（黄蓮順論文コメント）『アジア市場経済学会年報』第12号、2009年、73ページ

「巻頭言」『日本貿易学会創設と組織改革の歩み—学会50周年記念—』日本貿易学会学会史編集委員会編、2009年、1ページ

「グローバル化と保護主義」（エッセイ）『Asian Focus』神奈川大学アジア問題研究所、2009年、2ページ

「清水嘉治・石井伸一『新EU論』（書評）『神奈川大学評論』第61号、2008年、133ページ

「経済のグローバル化と保護主義」（講演）『市民文化の会』、2009年7月26日

「「豊かさの中の平等」は可能なのか？」（評論の言葉）『神奈川大学評論』第64号、2009年、1ページ

「グリーン・ニューディールとノーベル平和賞受賞」（解説）『神奈川大学通信 JINDAI Style (No.276)』、2009年、4ページ

「外資導入」「経済同盟」ほか18項目（項目執筆・加筆修正）『日本大百科全書』

阿久津 一恵（アクツ カズエ）

1 論文

「日本人のネゴシエーションスタイルについて」『経済貿易研究』No.35、2009年、35～45ページ

2 学会報告

「日本人の交渉能力についての一考察」第69回国際ビジネスコミュニケーション学会全国大会（中央大学）、2009年10月17日

池上 和夫（イケガミ カズオ）

1 研究報告

「住民税制の改革とふるさと納税制度」地方行財政研究会（神奈川大学）、2009年4月

出雲 雅志（イズモ マサシ）

1 海外学会報告

「危機の経済思想」2009年中国巨視経済教育管理学会年会（鄭州大学）、2009年7月10日

岡村 勝義（オカムラ カツヨシ）

1 共著

『財務会計学通論』税務経理協会、2009年

『通説で学ぶ財務諸表論』税務経理協会、2009年

『IFRS・IAS（国際財務報告基準・国際会計基準）徹底解説』税務経理協会、2009年

2 書評

「友杉芳正・田中弘・佐藤倫正『財務情報の信頼性—会計と監査の挑戦—』『会計・監査ジャーナル』第21巻第3号、2009年、136～137ページ

3 学会報告

「正味財産と資産対応の意義と展開—公益法人会計基準の変遷に関係させて—」第13回非営利法人研究学会全国大会（名古屋大学）、2009年9月27日

「公益法人会計における正味財産と基本財産」第3回財務会計研究学会大会（京都大学）、2009年10月31日

奥村 保規（オクムラ ヤスノリ）

1 学会報告

“Spatial Competition and Collaboration Networks” 2009年度日本経済学会秋季大会（専修大学）、2009年10月11日

奥山 茂 (オクヤマ シゲル)

1 共著

『通説で学ぶ財務諸表論』税務経理協会、2009年

小山 和伸 (オヤマ カズノブ)

1 著作

『選択力』主婦の友社、2010年1月

2 論文

“Values Realization Model of the Firm” Shokeironso 2009.2

“Two Dysfunctions in High – Tech R&D” Shokeironso 2009.10

“Two Dysfunctions in High – Tech Research and Development” Public Policy and Administration Nr.30, pp.82–91, Mykolo Romerio University Vilnius Lithuania 2009

3 学会発表等

“The Social Responsibility of a Private Enterprise” Conference of Social Psychology and Organization Poznan Poland 2009.3

International Conference Creating New Business by Utilizing Yokohama Brand Kanagawa Univ. 2009.10

“The Ethical Model of the Firm” Conference of Health as Resources Nizhny Novgorod National University 2009.11

“The Ethical Model of the Firm” Special Lecture at The Nizhy Novgorod Institute of Commerce 2009.11

兼子 良夫 (カネコ ヨシオ)

1 研究報告

「地方消費税の理論と展望」地方行財政研究会 (神奈川大学)、2009年5月

川村 哲也 (カワムラ テツヤ)

1 著書

『マルクス『資本論』入門—危機の資本主義を超えるために』(共著)河出書房新社、2009年4月

2 論文

「資本制のポジとネガ」『情況』第3期第10巻第5号、2009年6月、168～181ページ

3 書評

「的場昭弘『超訳『資本論』第2巻・第3巻』」『神奈川大学評論』第63号、2009年7月

五嶋 陽子 (ゴトウ ヨウコ)

1 論文

「シャープ勧告と医療費控除制度」『商経論叢』第45巻第1号、2009年、11～35ページ

2 学会活動

朴寶美氏学会報告の討論者「消費税増税がもたらす公平と効率の問題」日本財政学会第66回大会（明治学院大学）、2009年10月17日

酒井 良清 (サカイ ヨシキヨ)

1 論文

「危機管理モデルの功罪」（単著）『経済貿易研究』No.35、2009年、67～77ページ

「日本の銀行における決済機能の収益性」（共著）『横浜市立大学論叢』第60巻第1号、2009年、1～22ページ

「サブプライムローン問題の情報構造」（単著）『金融構造研究』第31号、2009年、1～9ページ

2 学会報告

パネル「グローバル金融危機と金融監督規制」司会・討論者（専修大学）、日本経済学会、2009年10月10日

佐藤 孝治 (サトウ コウジ)

1 論文

「地域防災対策の『見える化』戦略と東南海・南海地震」『神奈川大学・災害リスク軽減を目的としたソフト・ハード融合型リスクマネジメントシステムの構築に関する研究：2008年度研究成果報告書』2009年、133～156ページ

2 資料

「資料解題：市町村の津波避難マップ」『神奈川大学・災害リスク軽減を目的としたソフト・ハード融合型リスクマネジメントシステムの構築に関する研究：2008年度研究成果報告書』

書』2009年、157～181ページ

3 講演

「格差社会と若者たちの将来：フリーターの何が問題か」神奈川大学高大連携協議会（神奈川大学）、2009年6月4日

佐藤 睦朗（サトウ ムツオ）

1 論文

「東西スウェーデン論—スウェーデン歴史学研究における『東部』と『西部』—」（村井誠人（編）『スウェーデンを知るための60章』明石書店、2009年、26～32ページ

「海外移民とスモーランド地方—大量の海外移民を出した地を考える—」（村井誠人（編）『スウェーデンを知るための60章』明石書店、2009年、57～60ページ

「18-19世紀のスウェーデン農村社会—『貧しい農業社会』のイメージ?—」（村井誠人（編）『スウェーデンを知るための60章』明石書店、2009年、149～154ページ

五月女 仁子（ソウトメ ヒロコ）

1 著書

『コンピュータ 困ったときに開く本—改訂版 Office 2007対応—』（共著）ムイスリ出版、2009年

『コンピュータの教科書』DTP出版、2009年

2 論文

「アンケート機能を伴う出席システムの構築と運用」『経済貿易研究』第35号、2009年、144～210ページ

田中 弘（タナカ ヒロシ）

1 著書

『通説で学ぶ財務諸表論』（共著）税務経理協会、2009年

『税務会計入門』（監修・共著）税務経理協会、2009年

『監査論を学ぶ』（監修）税務経理協会、2009年

『経済社会政策の基礎理論に関する調査研究—報告書』（共著）経済産業省、2009年

「それでも時価会計を続けるのか（上）（中）（下）」『金融財政』時事通信社、2009年1月15日、22日、29日

「アメリカはなぜ会計規制に失敗したのか」『税経通信』、2009年1月

「金融危機と時価会計不正」『税経セミナー』、2009年2月

「稼ぐ税理士になる（１）税理士業界の現状と近未来」『税経通信』、2009年２月
「アドプションの先に待ち受けるもの（上）（中）（下）」『金融財政』、2009年２月26日、３月16日、４月２日
「稼ぐ税理士になる（２）業界全体のパイを大きくしよう」『税経通信』、2009年３月
「ガラス細工の国際会計基準（上）（中）（下）」『金融財政ビジネス』、2009年４月20日、６月4日、７月23日
「稼ぐ税理士になる（３）税理士によるコンサルの現状と近未来」『税経通信』、2009年４月
「会計基準は誰が決めるのか（１）（２）（３）」『税経通信』、2009年５月、６月、７月
「新任監査役のための『早分かり』会計講座」『月刊監査役』、2009年７月25日
「日本の国益と産業を支配する国際会計基準」『税経通信』、2009年８月
「『会計の常識』と『しろうと分かり』」『税経通信』、2009年９月
「利益は発生するか（上）（中）（下）」『税経通信』、2009年10月、12月、2010年１月
「新任監査役のための『早分かり』会計講座（中級編）（上）（下）」『月刊監査役』、2009年10月25日、11月25日
「経済も会計もナショナリズムで動く」『税経通信』、2009年11月
「日本に残された選択肢は何か（上）（中）（下）」『金融財政ビジネス』、2009年８月20日、10月15日、11月９日
「日本がなすべき国内会計環境の整備（上）」『金融財政ビジネス』、2009年12月３日
「証券市場と時価会計」『コーポレートコンプライアンス』、17号、2009年３月
「問題だらけの時価会計をいつまで続けるのか」『週刊エコノミスト』、2009年８月25日
「IASBが目指す『全面時価会計』の正体」『週刊エコノミスト』、2009年11月３日
「『国際会計基準』と『時価会計』の行方」『地銀協月報』、2009年11月

2 講演

「世界的金融危機と時価会計—会計とは何ものなのか」札幌大学、2009年１月20日
「日本の『国際会計戦略』を考える」経済倶楽部、2009年２月13日
「わが国の国際会計戦略を考える」産業経理協会、2009年２月20日
「時価会計—制度、理論、実務の諸問題」民主党企業会計検討小委員会、2009年３月４日
「日本の『国際会計戦略』とは何か」経済同友会、2009年３月18日
「日本の『国際会計戦略』を考える」経済産業省経済産業政策局、2009年３月９日
「国際会計基準と時価会計」マーカスエヴァンス、2009年５月25日
「日本の『国際会計戦略』を考える」牛島総合法律事務所、2009年５月30日
「時価会計と国際会計基準をめぐる問題点」全国地方銀行協会、2009年９月15日
「国際会計基準と時価会計の行方」東京地方税理士会 NTT データ通信協同組合、2009年10月９日
「時価会計と国際会計基準をめぐる問題点」企業活力研究所、2009年10月20日
「IFRS（国際会計基準）と時価会計の動向」産業経理協会、2009年11月26日

玉井 義浩 (タマイ ヨシヒロ)

1 論文

「貨幣経済における独占的競争の動学的役割」(共著)『社会科学研究』第61巻1号、2009年、101～110ページ

2 学会報告

「ナイト流不確実性の下での賃金交渉と名目賃金硬直性」日本経済学会2009年度秋季大会(専修大学)、2009年10月11日

戸田 龍介 (トダ リュウスケ)

1 著書

『通説で学ぶ財務諸表論』(共著) 税務経理協会、2009年

『スタンダードテキスト財務会計論 Ⅲ問題演習編』(共著) 中央経済社、2009年

2 論文

「利益の信頼性と複式簿記—記録・計算・公開レベルの考察を中心に—」『商経論叢』第45巻第1号、37～61ページ、2009年10月

「グローバル・スタンダードの光と影—国際会計基準(IFRS)の持つ意味—」『税経セミナー』第54巻第13号、4～8ページ、2009年9月

「グローバル化時代における基準の意味—国際会計基準を題材にして—」『経済貿易研究』No.35、121～126ページ、2009年3月

3 学会発表

「利益の信頼性と複式簿記」日本簿記学会第25回全国大会(東京経済大学)、統一論題報告(テーマ:複式簿記「再考」)、2009年8月26日統一論題報告、27日統一論題討論

4 講演

「グローバル化時代における基準の意味—国際会計基準を題材にして—」神奈川大学会計人会招待講演(新横浜グレイスホテル)、2009年7月3日

「減損会計について」横浜市監査事務局職員研修(横浜市監査事務局会議室)、2009年2月17日

中田 信哉 (ナカダ シンヤ)

1 著書

『運輸業の市場開拓と競争』白桃書房、2009年4月

『物流政策（「日本の流通政策」第5章）』中央経済社、2009年7月

中野 宏一（ナカノ コウイチ）

1 著書

『海外市場開拓のビジネス—中国市場とアメリカ市場—』（共著）白桃書房、2009年

2 学会報告

「世界経済の多極化と国際ビジネスの展開方向」国際ビジネスコミュニケーション学会、九州・山口支部会、2009年3月19日

鳴瀬 成洋（ナルセ シゲヒロ）

1 論文

「グローバル・インバランスとアメリカ経済」『経済貿易研究』No.35、2009年3月、79～95ページ

2 研究助成

2009年度神奈川大学共同研究奨励助成「2008年世界不況と21世紀金融資本主義の挫折—グローバルリズムの帰結と制度の再設計—」（2009～2011年度）

3 講演

「自由貿易とは何か」2009年秋期高校生向け公開講座（神奈川大学）、2009年11月14日

4 その他

吾郷健二「一次産品問題としての綿花問題再登場の意味」に対する予定討論、第68回日本国際経済学会全国大会（中央大学）、2009年10月18日

西村 陽一郎（ニシムラ ヨウイチロウ）

1 論文

「第1章持株会社制移行による企業グループ内組織構造の変化と特許出願行動等に対する効果」財団法人知的財産研究所（編）『我が国における産業財産権等の出願動向等に関する分析報告書』5～27ページ、財団法人知的財産研究所、2009年

「第6章特許の利用構造とそれが研究開発の収益性に与える影響から見た特許制度分析」財団法人知的財産研究所（編）『我が国における産業財産権等の出願動向等に関する分析報告書』144～157ページ、財団法人知的財産研究所、2009年

「国内特許ファミリーの決定要因」『K. U. Economic Society Discussion Paper Series』#2009

- 2、2009年

「米国における特許利用の実態に関する一考察」『K. U. Economic Society Discussion Paper Series』#2009-1、2009年

松村 敏 (マツムラ サトシ)

1 書評

「J. ハンター著 (阿部武司・谷本雅之監訳) 『日本の工業化と女性労働』 『社会経済史学』 第75巻第1号、2009年、89~91ページ

2 講演

「戦前日本最大の製糸経営・片倉組 (片倉製糸) について」NPO シルク文化協会 (岡谷市林家住宅)、2009年10月24日

的場 昭弘 (マトバ アキヒロ)

1 著書

『超訳資本論第二巻』祥伝社新書、2009年
『超訳資本論第三巻 完結編』祥伝社新書、2009年
『もうひとつの世界がやってくる』世界書院、2009年

2 論文

「資本主義の神話を撃つ」『朝日ジャーナル別冊 1989-2009』朝日新聞社、2009年
「金融恐慌をマルクス恐慌論から読み解く」『「アメリカ覇権」という信仰』藤原書店、2009年
「『資本論』完全解説」『マルクス『資本論』入門』河出書房新社、2009年
「思想から見たマルクス」『現代の理論』2009年夏号

3 そのほか

『とっさのマルクス あなたを守る名言集』幻冬舎、2009年
監修『知識ゼロからのマルクス経済学入門』幻冬舎、2009年
監修『漫画 資本論 俺たちの90日戦争』サンガ、2009年
「シンポジウム 『資本論』現代グローバリズム資本主義」阿佐ヶ谷ロフト、2009年2月23日
「シンポジウム 功利主義・社会主義・ユートピア」経済学史学会関東部会、2009年2月28日
「インタビュー マルクスで日本経済は救えるか」『財界 さっぽろ』2009年6月
「インタビュー マルクスから現代資本主義の危うさを読み解く」『社会新報』2009年4月15日号
「インタビューシリーズ 資本主義はどこに行くか 破綻か、労働者主体の変革か」『朝日新

聞』2009年2月16日

「解説 宮沢章夫 『資本論も読む』『『資本論』も読む』幻冬舎文庫、2009年

「インタビュー：話題の新書 若者に聞く 『超訳資本論』第二巻、第三巻』『日本経済新聞』
2009年4月16日夕刊

「インタビュー マルクスの予言通り、米国の資本主義は二度死んだ』『日刊ゲンダイ』2009
年1月9日号

「インタビュー 『資本論』解説本、漫画まで』『読売新聞』2009年8月17日号

「対談 池上彰×的場昭弘』『日経ビジネスオンライン』2009年9月

「インタビュー プチ思想ブームの実像は』『朝日新聞』2009年9月26日

「インタビュー いまなぜ『資本論』』『山形新聞』ほか、2009年9月2日

「座談会 日本社会の希望学』『神奈川大学評論』64号、2009年12月

「世界経済とヨーロッパ』『アソシエ21』22号、2009年

「論壇時評 一九八九年—神話を剥ぐ』『神奈川大学評論』63号、2009年7月

「対談 自由と民主化の神話』『オルタ』、2009年11—12号

「インタビュー 世界を変革する人のためにマルクスは存在する」mammo.tv、2009年11月

「インタビュー 『資本論』をどう読むか』『情況』、2009年8、9月合併号

「シンポジウム 今なぜ『資本論』なのか」専修大学社会科学研究所主催シンポジウム、2009
年11月17日

三島 齊紀（ミシマ ムネノリ）

1 論文

「A. H. Maslow による「自己実現」概念の探求プロセス：GHB ノートと1950年論文を中心に」（河野昭三との共著）『経済貿易研究』神奈川大学経済貿易研究所、第35巻、2009年3
月、47～66ページ

2 学会報告

「A. H. Maslow による「自己実現」概念の再定義について」（河野昭三との共同発表）日本
基礎心理学会 第28回大会（日本女子大学）、2009年12月

3 その他

「我が国若手従業員の昇進意欲と責任感の希薄化に関する実態調査」『平成19～20年度科学研究
費補助金〔若手研究（B）〕研究成果報告書（研究課題番号：19730281）』、2009年5月、
1～4ページ

「A. H. Maslow による「自己実現」概念の再定義について」（河野昭三との共著）『日本基礎
心理学会 第28回大会プログラム集』、2009年11月、42ページ

森泉 陽子 (モリイズミ ヨウコ)

1 調査報告書

「住宅金融の円滑な供給方策に関する調査研究」の分担執筆 (序章、第2章)、2009年3月、
(社)不動産協会

柳澤 和也 (ヤナギサワ カズヤ)

1 論文

「現代中国における高学歴若年層の就転職事情 (2) —就転職機会の獲得にともなう高学歴
若年層の地域間移動 (1) —」『商経論叢』第44巻第3・4合併号、2009年5月、45~92
ページ

山口 拓美 (ヤマグチ タクミ)

1 論文

「Ausbeutung, Exploitation、搾取—「剰余価値の搾取」は何を意味しているか—」『商経論
叢』第44巻第3・4合併号、2009年5月、29~43ページ

山本 通 (ヤマモト トオル)

1 論文

「ヴェーバーの『儒教とピューリタニズム』論文に関する一考察」『商経論叢』第44巻第3・
4合併号、2009年5月、1~27ページ

2 書評

「ピーター・バーク著 (長谷川貴彦訳)『文化史とは何か』」『社会経済史学』第75巻第1号、
2009年、109~111ページ

吉岡 忠昭 (ヨシオカ タダアキ)

1 論文

‘Representation of Economic Allocations by Social Equilibrium in the Two-Agent Case,’
Kanagawa University Economic Society Discussion Paper No.2009-02

2 その他

日本地域学会 第46回（2009年）年次大会 PRSCO セッション予定討論者（University of Waikato, Jacques POOT 氏の Modelling the Impact of Regional Social Infrastructure Investment on Social Capital in New Zealand に対して）10月10日、広島大学

渡部 照洋（ワタベ アキヒロ）

1 論文

「推論の二重プロセス理論と喫煙に関する認知」（共著）『日本リスク研究学会発表会講演論文集』第21巻、459～460ページ、2009年

“Rural Electrification in Developing Countries : Conflicts between Local Technological Innovation and the National Electrification Policy,”（共著）*Journal of Energy and Development*, vol.33, pp.105-128, 2009.

2 その他

Simulation Modeling for Economic and Environmental Assessments of Biofuels Policy, Note for the Analysis of the Philippine Bioethanol Policy, The Philippine Department of Energy, Manila, The Philippines, 2009.